

第二十八回記念式恭賦

著者	今田，哲夫
雑誌名	龍南會雜誌
巻	1 6 8
ページ	1 3 8 - 1 3 8
発行年	1918-12-25
URL	http://hdl.handle.net/2298/6857

胸に響ける詩の言葉に、
心に傳ふる自然の聲に、
小さき魂、無量の愛に目覺めゆく、
嗚呼清き龍南の、眞の情ここにあり、

此の詩龍南の實生活を歌ひて更に一節これを統一し祝歌の意を添ふる豫定なりしもこれを他日に期することなしぬ。

第二十八回紀念式恭賦

一、三、甲二 鐵甕 今 田 哲 夫

鍊磨奮勵豈無功。

八百健兒氣概同。

才藝花開新教育。

心身秋鍛古英風。

讀書潑眼平生在。

競技博譽今日中。

壯快如茲眞記念。

師恩海岳仰無窮。

紀念運動會有作

不問坤輿要豹韜。

秋風十月試人豪。

龍驤虎躍誰能手。

玉振金聲總俊髦。

綽綽胸量分勝敗。

堂堂抱負紀薰陶。

武夫原上回頭望。

萬丈噴煙蘇嶽高。